|原JCの歩み

これまでの時代背景

当時の日本は、経済的な裕福さを求めて「上から下へ」「下から上へ」 といった「タテ型構造」の考え方で発展してきたと言えます。しかし、私 たち地域のニーズや価値観が多様化し、かつての「中央集権型社会」では 対応が難しくなりました

2000年の地方分権法では、各地方自治体に、より住民に密接した役割 の移譲が求められました。そこで"自分たちの事は自分達で考え、自己責任において決定してゆく"「地域主権型社会」が必要となったのです。地 域主権のまちづくりを進めるには、行政・財政の基盤強化が必要不可欠で あったことなどから、全国に「平成の大合併」という大きな波紋が広がり

また、教育面では子どもたちが自ら学び、考える「生きる力」を養うた め、「ゆとり教育」が必要とされ、「総合的な学習」の実施や「学校週5日 制」が導入されてゆきました。

三原 JC の歩み

(社)三原青年会議所は、常に時代の変 化と共に、まちづくりビジョンを提言し てきており、2000年に現ビジョン「コラ ボレーションシティー 21」を創りました。

その中では、行政と市民の協働による まちづくりの必要性を唱え、「小早川市構 想」を含めた合併問題への取り組みをは じめ、市民の声を採り入れて考える「市 民参加型社会」構築を目指して活動して

きました。 また、子ども達の健全育成に向けて、 家庭・学校・地域の連携による教育環境、 PTCA 運動の推進にも力を注いできました。

るためには、どうすればいいのだろうか? 市民誰もが夢と誇りを持てる。まち そして新三原市となった今

新三原市が魅力あるまちとなるためには、市民一 人ひとりがまちに愛着を持ち一緒になってまちづく りを行なう市民参加・市民協働によるまちづくりシ ステムが必要です。そこで、市民のまちへの愛着、 まちづくりの思いを聞くため「新しいまち"みはら" の夢を語る会」「アンケート」の実施や、「例会での 意見交換」を行い、まちの将来像について語り合い ました。

その結果、まちづくリシステムを活かして市民全 員が幸せを実感でき充実した人生を送れるまちとな る事に重点をおいて市民の皆さんの意見を基に検証 を重ねた結果、そこに3つのキーワードが浮かび上 がってきました。



新しい"まち"みはらの夢を語る会



まちのオリジナリテ

市民一人ひとりの資質向

まちが一体感を持てるもの

たとは全国に誇れるオリジメルン 木当の音味で 本当の意味で 全国に誇れるまちの オリジナリティーが あると思いますか?

がを良くしたいと考えていますが、 やっさ祭りを 単に楽しむ以外に 観光資源として 考えていますか?

ではしたけれども のままが見ませ 他のまちが身近に なったと思えるものが ありますか?

夢のある新三原市の将来を考えた市民の思い(意 見)から浮かび上がってきた、3つのキーワード についての質問を市民の皆さんに投げかけてみま した。その中でまちのオリジナリティーについて 様々ある意見(タコ、やっさ祭り、小早川 隆景) がありましたが、本当に私たちのまちの誇りや魅 力となっているのでしょうか?答えはNOですが 全くダメなわけではありません。いずれも、まだ 成長過程であり大きなまちの推進力となってはい ませんが、十分にまちの魅力となりうる資質はあ ります。しかし、多くの市民の方はあまりその事

について、考えたことがない(=まちづくり意識 が低い)のでは、と感じています。

これからの三原が魅力あるまちとなるためには、 市民一人ひとりのまちづくりへの意識を高めてゆ かなければなりません。その為には、自分のまち の事を自慢できるくらい誇りが持てるよう、まち の魅力を知る機会や、文化・歴史の継承といった ところから、みはらのオリジナリティーを発見し 自分たちのまちを知る事が大切です。その上で、 おのずと自分のまちを良くしたいという気持ちが 生まれ、まちづくり活動に楽しく参加できると思 います。そうすれば、自分のまちに愛着が生まれ 郷土愛が芽生えてくるでしょうし、楽しくまちづ くり活動に参加する事で、自然と人と人とが繋が り合いパートナーシップが生まれ一体感を感じら れるのではないでしょうか。一人ひとりが心の豊 かな人となり自己責任を持って人のために行動で きれば、いつしか市民の資質が向上していること と思います。

そんな、まちとなる為の提案を(社)三原青年 会議所では三原 JC ビジョンとして、本年度策定 してゆこうと取り組んでいます。

ワ広広旬ス平平「ビ翡旬旬㈱㈱皆車㈱な㈱ラdN食な中中旬旬と上旬旬水旬㈱スイ島。 タロース 八原 実でナば西ゥロロ 遊さ サルリテと東ル土法のコー・ン・コー・松ト・ルー・「野墓、上屋ンコロ 医村間中広 シット 土法 三原とみみ じ田建 量ル川・ 半リア博物参ンデ原ン の グ金 T 労浦 K フ 少りとと 給 フル自気広 幸口 一税 S カル 灰りバー商 g a 和 」 建 石材原店 ま 材工品ヤ 和シ ラ属岡井建 リ尾士生 マ製ふ鉄ンエ ^科 科 幼りり さ三ミ善谷西洋ク会 <u>=</u> ŧ b リラ供工 商單〇 久科

買渡旬和 L C (有) 理(株) 子 (有) 国 (根) 三原 (内) 三原 (D) 三原 (D

